

区自治協議会提案事業 事業評価書

北区自治協議会
地域づくり部会

区分	内容
テーマ・事業名	地域課題の解決に向けた調査研究 【事業費予算 400千円】
事業目的・概要	区民との協働による地域課題の解決に向け、事業内容を検討するため、区の現状・課題に関する調査研究等を行う。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	産業(商工業、農業)・大学などとの連携・公共交通・防災など地域に関する分野を所管する、地域づくり部会では、「産業、大学などとの連携」を調査・研究のテーマに設定し、以下の事業を実施した。 ○新潟食料農業大学(胎内キャンパス)視察研修 【開催日】令和7年10月7日(火) 【内容】当大学の研究・社会連携活動内容説明、大学構内見学 【講師】新潟食料農業大学 学長 中井 裕 氏 ○企画事業に関するワークショップ開催 【開催日】令和7年1月22日(木)、2月26日(木) 【内容】ワークショップ(次年度実施事業を計画立案) 【講師】NPO法人 まちラボ 山賀 昌子 氏
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	・地域課題の抽出や調査研究テーマの設定にあたり、関係部署から区の現状について説明を受けるとともに、委員同士で意見交換を重ね、地域課題を整理し、調査研究の方向性を定めることができた。 ・調査研究の一環として、新潟食料農業大学を視察し、大学の取組や地域との連携について説明を受けるとともに、構内を見学した。学長からは地域と連携した教育・研究の事例について話があり、大学が地域に果たす役割や今後の連携の可能性について理解を深める機会となった。 ・また、1月および2月には、NPO法人まちラボの山賀昌子氏を講師に迎え、次年度事業の検討に向けたワークショップを実施した。視察の学びを踏まえて意見を整理し、次年度事業の具体化に向けた一定の方向性を共有することができた。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

北区自治協議会
福祉教育部会

区分	内容
テーマ・事業名	地域課題の解決に向けた調査研究 【事業費予算400千円】
事業目的・概要	区民との協働による地域課題の解決に向け、事業内容を検討するため、区の現状・課題に関する調査研究等を行う。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	子育て、教育、医療・保健、福祉全般に関する分野を所管する福祉教育部会では、「地域におけるこども・子育て支援事業」を調査・研究のテーマに設定し、以下の調査・研究を実施した。 ○調査・研究「愛着形成について」(養育におけるアタッチメントの重要性など) 【開催日】令和7年8月28日(木) 【講師】健康福祉課長 吉田 潤 ○地球の子供食堂と宿題Cafeひがしく店の見学 【開催日】令和7年9月25日(木) ○こども(児童期含む)、妊婦に対する支援について 【開催日】令和7年11月27日(木) 【講師】北区教育支援センター 上村所長、阿部指導主事 北区健康福祉課長 吉田 潤 ○講演「子育て支援の場から見る現代の子育て事情と支援のあり方」 【開催日】令和7年12月3日(水) 【講師】保育士、公認心理師・臨床発達心理士 丸山 マチ子氏 ○講演「子どものこころの育ちの理解～子どもの育ちを支える「基地」になる～」 【開催日】令和7年12月25日(木) 【講師】新潟県立大学人間生活学部子ども学科教授 角張慶子氏 ○事業内容決定のためのワークショップ実施 【開催日】令和8年1月22日(木)、2月26日(木)
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	・こども・子育てに関する調査・研究を通して、委員一人ひとりが意見を持ち、活発な議論を経て、次年度に実施する事業を計画することができた。 ・特に、12月に実施した丸山マチ子氏、角張慶子教授の講演では「地域として取り組めること」についてもお話いただき、「地域がこどもの健やかな育ちや子育て世帯を支える”社会の厚み”として機能することを目的」とする方向性を見出すことができた。地域に根差した自治協議会として取り組むべき内容として適切であり、実施効果の高い事業を計画する一助となったと評価できる。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

北区自治協議会
自然文化部会

区分	内容
テーマ・事業名	地域課題の解決に向けた調査研究 【事業費予算400千円】
事業目的・概要	区民との協働による地域課題の解決に向け、事業内容を検討するため、区の現状・課題に関する調査研究等を行う。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	○現地視察 北区にある潟などの自然施設の現状や管理状況、課題や活用の可能性を把握し、事業の企画および実施に役立てることを目的とする。 【開催日】令和7年10月24日(金) 【視察箇所および説明者】 1 十二潟:NPO法人いいるこ十二潟を守る会理事長 山崎敬雄 氏 2 高森の大ケヤキ:高森自治会長 品田広 氏 3 福島潟:福島潟レンジャーガイド 昼食(潟弁当) 4 海辺の森:NPO法人森の会理事長 関本圭佑 氏 5 阿賀野川ふれあい公園:北区建設課公園担当者 ○スポGOMI講習会 次年度事業としてスポGOMI大会の開催を検討するにあたり、競技ルールや運営方法、安全管理、事務手続き等について正しく理解し、円滑な事業運営につなげるため実施した。 【開催日】令和7年11月27日(木) 【講習内容】 講師:一般財団法人 日本財団スポGOMI連盟 馬見塚健一 氏 内容 1 スポGOMIのルールについて 2 運営手順について 3 事務手続き、経費について
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	次年度活動テーマを「水辺環境の活用・魅力発信」と設定し、調査・研究を実施した。現地視察を通じて自然施設の現状および活用の可能性を把握するとともに、講習会を開催し、事業運営に必要な知識を習得した。 これらを踏まえて、「スポGOMI」大会を開催することを決定した。
備考	